



白河二中だより

NO. 40
2024. 2. 9
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

かわいそう そついうあなたも 加害者です
(三年五組 竹内優羽)

心に刻む

「それぞれの人権は尊重されるべきであり、いじめは絶対に許されない」ことを、学校においても様々な場面で共通理解を図っています。11月末に実施した生徒集会でも、全校生で確認するとともに、人権擁護委員の佐藤正弘先生からもお話しいただきました。

今回、新たな取り組みとして、「いじめに関する標語」20作品が校内に掲示されました。生徒会が中心となり全校生に呼びかけ、選ばれた作品です。普段から目の届く場所に標語が掲示されたことにより、今まで以上に「いじめ」に関する全校生の意識が高まるものと考えます。今年度も既に10件以上のいじめを認知していますが、全ての教育活動を通して、「いじめの絶無」を子ども達と達成していきたいと思ひます。

認め合い いじめをなくす 第一歩
(二年二組 鈴木芭奈)

一年生

「相手への 放った言葉 責任を」

「友達も 十人十色 認め合う」

「悪口は 人が傷つく 言う『凶器』」

「傷ついた しかし相手は 自覚なし」

「かわいそう 思うだけでは 終わらない」

「度を越した ふざけはいつか いじめへと」

二年生

「目をそむけ 見ぬふりしたら いつ見るの？」

「なぜそんな 優秀つけて 比べるの？」

「一言で 心に残る 深い傷」

「認め合い いじめをなくす 第一歩」

「認め合い 相手に合わせた 付き合いを」

「呼び方に 嫌がるあだ名 入ってない？」

「境界線 僕とあなたは 違うから」

三年生

「いじめてる 見て見ぬ振りせず 相談を」

「悪ふざけ 気づいた時には もういじめ」

「やめようよ その一言に 救われる」

「いじめじゃない 助け合いで 広がる未来」

「かわいそう そついうあなたも 加害者です」

「見捨てない 一人悩んでる 友達を」

「名前 個性 一人一人の 宝物」

澤口 紗埜

坂路 羽叶

峰 悠都

大山 優聖

國井 優芽

佐藤 祐基

穂積 響

星野 朱璃

鈴木 美怜

鈴木 芭奈

永島 和穂

富田 真帆

菊地 大雅

鈴木 蓮衣

吉田 梨紗

塚田 涼雅

鶴水 裕世

竹内 優羽

五十嵐 心音

笹山 峻

ご協力に感謝!

今週は月曜日の午後から、21センチの積雪がありましたが、地域の方々、また、教職員と生徒会役員、交通安全委員、野球部、サッカー部、ソフトテニス部、そして、ボランティアのメンバーの協力により、安全な通学路、駐車場を確保することができました。

また、学区内においても、たくさんの方々の協力により除雪が行われ、トラブルなく通学できていますことに感謝申し上げます。

